



当り前のありがたみ

大田区立馬込中学校 一年 喜田 陽果

私は本を借りたり、勉強をしたりするためによく図書館を利用します。老若男女たくさんの方が自由に時間を過ごせる図書館という場所が、私は大好きです。私にとって図書館は、テスト直前で必死に勉強していたり、本を借りたり読んだり趣味に没頭したりしている私を温かく見守り、応援してくれるような存在だと思います。図書館をたくさん利用するようになって、私は図書館の管理運営に税金が使われていることがとてもありがたいことだと感じるようになりました。

私が税金についてほとんど知識がなかった頃、本やテレビで少しだけ得た知識から「大人になったら税金を払う場面がたくさんあって大変そう」と思い込んでいました。しかし学校の授業で習ったり、少し新聞を読んだりするようになり、税金は私たちの生活に不可欠なものであると知りました。高齢者や障がいがある方の福祉や学校、区議会や国会の運営などは日本で暮らすすべての人に必要です。また、図書館や公園は私たちの生活に楽しみを与え、豊かにしてくれます。他にも自分が知らない場面で税金に支えられていると思います。このことを知って私は、税金のお陰で当たり前毎日が成り立っていることを実感しました。学校に通えていること、図書館に行きついでに散歩も行きついでにきれいな道を歩けることなど普段意識

することがないくらい当たり前な事はたくさんあります。しかし、それだけでも恵まれていることで、当たり前と思っではいけないと思います。全ての人が、税金のお陰で当たり前だと思える毎日があるということを意識することが大切ではないでしょうか。税金を支えられていることを意識すると、公共物を大切にしようと思っことができます。また、税金のお陰でも恵まれた環境だと感じることもできます。

税金は陰で私たちの生活に幸せを与えてくれるお金だと思います。私は図書館に背中を回回も押しももらっています。税金から育まれているたくさんの方の幸せを、私はたくさんの方に知ってもらいたいです。税金によって生活が支えられ、成り立っていることを知ると当り前だと思っている毎日が、とても恵まれていると感じられます。これから、私はもっと税金について知りたいです。もっと知ることによって、今までとは違う視点からもっと幸せを感じられると思います。私が図書館から感じた幸せを、他の所からも感じられたり、だれかにその幸せを伝えたりできるようなりたいです。